るにまかせてはならぬ。学校の科外講義として時局問題に関する世の名士の講義或は現時勃発中の争議の批判等を直接関係者から聴かしめることは、単しそれ自身に於て有益であるばかりでなく学生の興味と[illegible]ならしめて全般の引き締めとなる。又実習科目の意味に於て争議の応援、ビラマキ、ポスター貼り、演説会出演、出版物編輯手伝、見学等に生徒を動員することは必要である。

ロ、小年団学校　労働組合に於て小年団の組織を持つ場合には小年の為めの学校を開設すべきである。この学校の科目は普通学校の科目をプロレタリアの立場から焼き直したものでなければならない。また少年は政治問題を理解しないと思ふのはブルジョア教育家だ。[illegible]通幼稚園でも教へる如くに階級闘争理論をやさしく、少年に教へこむべきである。少年は集団的行動に慣れ易い。[illegible]階級的集団行動に習慣づけることは吾等が運動の為の第一歩[illegible]有益であらう。

ハ、講習會　これは短期の学校である、或る便宜の時期を見計つて組織及未組織労働者の為め経済社会政治上の一般的智識を速成的に授けるのが其目的である。科目は大体労働学校のものでよい。時には二三特定の科目について講習を開くのも有効である。この場合には普通労働学校に於けるよりも深く専門的研究に立入ることが出来る

ニ、講演會、これは一回を以て終る所のものであつて主として時事問題（例へば世界恐慌産業合理化等々）に関して一般大衆の理解を深めるのが目的である。

ホ、演説會　演説会と講演会との差は前者は教育を加味するに反し後者は宣傳を専らとする点が一つと、講演は課題が一つに限らるを常とするが演説に於ては数名の弁士が異った題目を換へて聴衆の意識の高揚と感情の激発に努める相違にある。換言すれば講演は聴衆の冷静なる理解を促すものであるが、演説は彼等を行動に直接導かんとするものである。

ヘ、討論会　之れは学校に附随すべき試みであるが、一定の時事問題理論戦術等に関して既に研究取得したるものを基礎として学生自ら更らに研磨する方法である、討論会の長所は単なる耳の学問をして真に腹からの学問たらしむる所にある討論会を通じて初めて初心者は自らの臆病を